

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム青葉の家
(ユニット名)	1号館
所在地 (県・市町村名)	愛知県豊橋市嵩山町字松田55
記入者名 (管理者)	菊池信子
記入日	平成20年10月20日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方々、親子さん達の触れ合いを通じて、自然の移り変わりを感じています。	○	地域の行事、学校行事等に参加するよう努力する。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンス、部会を開きよりよい理念の実践に向けて、取り組んでいます。	○	職員の理念の、更なる実践の向上、職員採用時には理念を理解して頂くようにする。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地元のお総代さん、老人会の会長、民生委員、入居者の家族の方々と、2カ月に1度運営推進会を行い、ホームの役割、現状の取り組みについて、意見を聞ける方向に進めるようにしています。	○	運営推進会議家族会に、一人でも多くの参加と、議事録の配布をして参ります。
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の野菜直売があり、食材を購入しています。種苗や花の苗を下さったり、安くして頂き交流を図っています。	○	散歩のとき、ご近所の方に声をかけたり、子供たちへ呼びかけたり、よいお付き合いが出来るよう努めたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元のお祭り、学校の運動会、町内の盆踊り、小学校の学芸会、保育園の夕涼み会などに参加し、地域の方や子供たちとの交流を、する事に努めています。	○	地域の行事の招待を頂いた時は、参加するよう努め、行事の情報もキャッチして参ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の学生さんがボランティア(実習)で受け入れを行なっている。近くの保育園の運動会に招待されています。	○	地域の学生、ボランティアの受け入れを通し、地域との連携をより深め高齢者への理解を深めて頂ける様努力したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価した事項は職員に伝達し実行する。	○	項目全体を職員全員で点検していくよう努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者からの報告をしたり、利用者の日常生活を話し合う。	○	サービス向上となるよう、職員一同会議の内容を話し合い、よりよい介護を目指していく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を2カ月に1回行なってサービスの向上に取り組んでいるところです。	○	ボランティアの方にもお願いし積極的に取り組みしたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市町村担当者の方とも話し合いの場を持って活用を深めています。	○	制度を利用されている方も見えるが、キーパーソンとなられる方がよくその内容を理解されておられない様子。よく話し合い有意義に活用されるよう支援していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時は怪我やあざ、内出血の跡とか注意深く観察し、転倒にも注意しています。虐待はありません。	○	定期的に講習を開き、受講する事でより虐待防止への理解を深めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に面接をし入居者やご家族の希望を聞き十分な説明をし、納得していただいて契約を結んでいます。</p>	<p>○</p> <p>時間を取り、不安や疑問点がない様、説明するよう努めています。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者さんが分かる所に意見箱を用意し、苦情とか意見を投書して頂き、部会及びカンファレンスにて話し合い、よりよい運営に努めています。</p>	<p>○</p> <p>介護相談員の訪問を受け入れ、利用者が外部に話をする機会を作っています。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の生活状況を日中の記事、夜間の記事を記入し介護記録を家族の方に見て頂いています。</p>	<p>○</p> <p>利用者さんの行事の写真とか絵画教室で書いた物、手作りの工作等個々の居室に飾ったり廊下に貼って見て頂けるようにしています。、</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱に頂いたり、直接電話等で管理者に伝わり、部会で話し合いを持ち、よりよい運営が出来るようにしています。</p>	<p>○</p> <p>意見箱を設置しています。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>上司に意見を話す事も出来るし、意見箱の利用にも意見の反映も出来ます。</p>	<p>○</p> <p>職員の現場の意見を反映させて、よりよい介護運営の向上に繋げています。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>電話や携帯電話にて勤務の調整に努め、臨機応変に協力し合い、調整をしております。</p>	<p>○</p> <p>職員の急病、急な休み、退職者のときに応援できる人を確保できるよう取り組んでいます。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員を固定化し、顔なじみの職員がケアで出来るよう、常に心掛けています。</p>	<p>○</p> <p>職員の異動を最小限にとどめるよう努力、工夫をしています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部にて研修レポートの提出、AA課程、A,B課程受講し、部会カンファレンスを受ける機会を確保する。	○ レポートの提出を希望している。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設と連絡を取り合い、研修会に参加したり交流を持つことによりサービスの質の向上を目指している。	○ ネットワーク作りや勉強会をより多く持ち、サービスの質の向上に取り組みたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	部会、朝礼の時に話し合いや思いやりの心で助け合っ、人間関係の工夫をしている。	○ よりよい介護を実践するため、早めの軽減に向け対策を考えて生きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	向上心を持って働き続けるように、職能評価をしたり、資格取得に向けて支援している。	○ 努力や実績が、運営者まで届くよう、その評価が平等にされるよう、望んでいます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者や家族の思いを受け止めてよくお話し、理解して安心をしてから支援していく。	○ 本人の訴えをきめ細かく傾聴し、又聞く機会を多く持ち、全職員まで伝わるよう努力していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者や家族のお話をよく聞き、家族の立場になって支援していく。	○ 家族の色々な思いを聞く機会を多く持ち、よりよい信頼関係が保てるよう努力してゆきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	食事・おやつ・テレビ体操、全員がそろって対話したり支えあったりし、楽しく過ごされています。	○	全員で楽しむ事ができるゲーム・戸外にて外気浴をして皆で楽しめるようにしています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームを見学され本人家族の方の希望に添えるか、説明を聞いて相談され納得した上で、手続きを決めて頂く。	○	職員や他の入居者、ホームの雰囲気になれていかれるよう家族等と、相談しながら行なっていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の顔色・雰囲気を素早くキャッチ、本人の考えている事、思っていること不安を取り除き、相談をしながら支援していく。	○	一緒に過ごしながらか喜怒哀楽と一緒に分かち合い利用者の住みやすい環境を作るよう努めています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子など十分注意し、楽しい思い出を作るよう支援していく。	○	日々の生活の出来事、気付きの情報共有に努め、本人の生活を共に支援するよう努力したい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の方の希望、本人の希望を理解しあって、よりよい関係を気付き上げていきます。	○	年賀状や暑中見舞いのはがきを御自身で書いてもらっています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族、馴染み等、関係性が途切れないよう、電話や一人一人の申込みを協力している。	○	本人を支えてきた人達との関係が途切れないよう配慮していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	おやつ・食事の時間、全員が揃ったり輪になって囲んだり、お話をしたり支えあって楽しく生活されている。	○	役割活動を通し利用者同士の関係や個性を活かし、それぞれにお手伝いをして頂いています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居され別の施設に移られても、面会に行ったり手紙や電話で話したり相談にのったりしています。	○	サービス終了後も長期、継続的なフォローに心掛けています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中でその都度声を掛け、行動とか表情を見て理解していきます。	○	利用者がその人らしく暮らしていけるよう、職員が一人一人思いやりの心を持って、生活上感心を持って配慮を忘れないようにする。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人家族必要な関係者と話し合っ、常に新しい計画を作り支援しています。	○	プライバシーへの配慮を忘れないようにする。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人のリズムをキャッチして、なるべく本人のペース・希望を取り入れ支援していく。	○	一人一人の暮らしのリズムに添って、本人の状況をつかみ生活の中で発見に努める。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の要望を聞き介護計画を作成し、職員で意見を交わしカンファレンスを通して、よりよいアンデアミ反映して行ないます。	○	本人は何を必要か、何を望んでいるかを家族と共に、本人本位の介護計画を作ることを大事にしたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族の要望を取り入れつつ、職員・ケアマネジャーに話し合いの場のカンファレンスを行なって支援の介護計画を作成している。	○	その都度、臨機応変な対応が出来る計画を、作るよう心掛けています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態や変化は申し送りノートに記入し、バイタルチェック・食事量、排泄、点眼など詳細記録に書き入れています。	○	衛生管理として食器の食中毒防止を心がけ、よりよいケアに向けて活かしている。介護計画の見直しにいかしているか確認もしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて通院や送迎等、必要なときには支援している。	○	本人、家族の状況に応じてその時々々の要望に応じて、柔軟な支援をして生きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々、幼稚園児等も協力して楽しませて下さっています。	○	地域の学校等に協力をお願いします。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人・家族の方とも話し合い、よりよい生活の向上に向けて支援している。	○	介護保険外のサービスを受けられるよう支援して行きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	市職員、権利擁護の方、民生委員とも協力し合って支援している。	○	地域包括センターと協働しながら本人本位の支援に繋がっていきけるよう努めたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に家族同行の受診となっているが、不可能な時には職員が同行しています。協力医他複数の医療機関にお願いしています。	○	本人・家族と受診結果に関する情報の共有が出来るよう心掛けています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の医師とも相談し診断や治療を受けられるよう支援している。	○	医師と信頼関係を築きながら相談に応じてもらえるよう努めている。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療加算の実施により看護職員による管理健康や医療活用の充実が出来るようになりました。	○	一人一人の健康管理や症状の早期発見、医療的支援のQOLの拡大。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院の医師と相談し連携している。	○	できるだけ早期退院ができるよう努めて生きたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族やかかりつけ医師とも相談し、一番良い方法に向けて今後の検討や準備をしていく。	○	症状の進行度合を日々細かく観察し家族、協力医共々職員全員が方針を共有できるよう努力していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族や協力病院と相談し、一番良い方法に向けて今後の検討や準備をしていく。	○	困難な方々、不安な事など職員全体で話し合える場を多くし、日々充実したケアが行えるよう努力していきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者や家族の希望、一番よいと思われるように今後の検討や準備をしていく。	○	住み替えによるダメージを最小限に抑えたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人一人に合った声掛けをし、トイレ誘導もさりげなくするような心がけをしている。	○ 入居者のプライバシーを大切にしていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望される事を取り入れるように努めたり、できることややりたい事の実現に向け支援する。	○ 希望する事を自分で決めたり納得しながら出来るよう支援している。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室で過ごされたり、居間でテレビを見たり本や新聞を読まれたり、心地よく過ごされるよう努めている。	○ 入居者の好きなことを好きな場所で出来るように支援していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族と美容室へ行かれる方やホームに来て頂く理容師に、お願いされる方等希望に添えるよう努めている。	○ 職員も一緒に楽しくおしゃれが出来るよう努めている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けをしていただいたり、食器拭きをお願いしています。	○ 職員も一緒に食事をしながら、食事の楽しさを味わって頂ける様支援する。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族や利用者からお話を聞き、ヤクルト、牛乳、ヨーグルト等身体にあった物や便秘予防にも努めている。	○ 好きなものをそれぞれの状況に合わせて、楽しめるよう努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	チェック表に排泄の時間等記入し、トイレ誘導で排泄の習慣が出来るように支援する。	○	トイレで排泄できるよう工夫をして支援していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	なかなか本人の入浴したい日や時間に合わないときもあるが、楽しくリラックスして入浴していただけるよう努力している。	○	体調にあわせ無理のない入浴ができるよう、本人がリラックスして楽しんで頂けるよう努力している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不安なく安心して安眠されるよう声掛けや、静かな環境を提供している。	○	不穏時は安心して頂くよう援助し、気持ちよく休息されるよう努力していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や皆様と一緒に楽しめる事、生きがいや喜び、楽しい有意義な生活を送っていただけるよう支援に取り組んでいます。	○	生活歴を活かし、趣味や楽しみごと、出来る事の役割を引き出し、楽しく共同生活が送れるよう支援している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	どうしても持っていたい方には最小限の額にし、管理者が金庫に保管していること、説明して納得していただいています。	○	家族との外出は自由にされています。又、施設内の売店で職員と一緒に欲しい物を買えるよう支援しています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外気浴を兼ねた散歩や日光浴しながら体操、果敢へ花植え、花摘みなど支援しています。	○	運動・リハビリを兼ねての散歩などで楽しんで頂いています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段いけないところには中々実行出来ず家族同伴が主になってきています。	○	行ってみたいところなど、家族の協力のもと、極力希望がかなえられるよう支援してゆきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙をポストに入れたり家族の方からいつでも気軽に電話をしていただくようにしております。	○	手紙・年賀状・暑中見舞い等出すための支援を続けて行きます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に面会に来て頂き、居室にて一緒にお茶を飲み、ゆっくり会話していかれるよう職員も笑顔で対応に心掛けています。	○	明るく笑顔で家族の方や知人、お友達にお会いするよう徹底する。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	朝礼、研修会等で身体拘束をしない介護に取り組んでいます。	○	毎日の申し送りにて身体拘束していないか、確認しています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一人一人の気分や状態をきめ細かくキャッチしてオープンな介護が出来るようにしています。	○	自分自身に置き換え、鍵をかけられた時どんなに辛いか考えて支援する。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	仕事をしながら常に動きをさりげなく身寄り全員の状況を把握するよう努めています。	○	職員が必ず常に見守り、入居者だけにならないよう声掛けに努力している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況に合わせ注意が必要な物品は、管理方法を決め申し送っています。	○	危険物品は家族と相談し、持ち帰っていただくか、こちらで手の届かないよう保管する。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態をしっかり見て予測される期間を検討し、事故・転倒を未然に防ぐよう色々工夫に取り組んでいます。	○	職員の申し込みなどしっかり把握し、お互いの知識を話し取り入れ事故防止に努めます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の協力、救急時の対応など検収や実施を行なってきた。	○	併設のセンターのナースより初期対応は指導にて実施しています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、避難訓練とか消火器の使用方法等、定期的に説明をしていただいています。	○	職員と利用者が一緒に年間を通じて訓練を継続していく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	自由な生活の大切さを家族の方々、本人にも説明をし無理な暮らしを押し付けない。	○	利用者の安全を確保しつつ抑圧感のない自由な暮らしを支援して行きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝バイタルチェック、顔色、表情を見逃さず速やかに館長、ナースに報告し病院で診察を行なっている。	○	早期発見にて症状の変化を早くキャッチし悪化防止に努める。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の薬剤が違うので名前の確認し日付の確認をし服用して頂く。	○	名前と顔の確認、錠数など間違いのないよう服用して頂く。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	歩行運動、水分補給、乳製品、繊維の多い食料をとることにより自然排便が出来る様取り組んでいる。	○	排便コントロール、腹圧マッサージ温罨法など排泄困難とならぬよう努める。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	職員が声掛け見守り、介助、入居者に応じて義歯の洗浄等支援しています。口腔ケアの大切さを職員全体が把握すること。	○	食後のうがいと、義歯磨き、寝床時イソジンうがいと、飲む危険のある方はお茶での口腔ケアに努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立のもと、カロリー計算された内容で、摂取して頂いています。摂取量もチェックし水分補給も声掛けにて実施しております。	○	便秘気味の方には、家族がその方に合った飲み物を持参して下さっている方も有ります。10時、15時のおやつには嗜好を取り入れています。(コーヒーや紅茶)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	見える場所に予防や対応のマニュアルを掲示し、日々、手伝いやうがい他実施しています。	○	早期の対応に努め感染されない努力を日々実行していききたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理チェック表で日々予防しつつ、新鮮で安全な使用の管理に努めています。	○	外注の食材や職員の買い物での食材使用。新鮮で安全な使用管理に努めていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先に植物を植えたり、入居者、来客の方たちが親しんで安心して出入りされるよう努力している。	○	立地的に少々困難さがあり、よりよい環境作りに努力したい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には季節の花を生けたり、折り紙で飾り物を作ったり。日常生活の写真を廊下に貼ったり、食事中には軽音楽を流してリラックスできるようにしています。	○	花を飾ったり自分達で作った工作物を居室に置いてあげたり、思い思いに過ごしていただくよう工夫しています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い方同士ソファーにて仲良く対話されたり自分なりの勉強をされるよう場所を作ってあげたり、又全員で楽しく過ごすゲーム等工夫しています。	○	利用者がマイペースで自由に過ごせるよう休みたい時には、休んで頂き自分の家のように生活できるよう工夫しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族・本人と相談し、使い慣れた物や好みの物を持参して使っています。	○	本人の使い慣れた物、好みの物がある事で居心地良く安心できる空間作りをしている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気に努めドライ・暖房・冷房・送風等配慮しています。	○	常に換気には特に気をつけ、衣類・かけ布団等、調節に心がけ温度差には対応している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面台に補強した足を設置し、重力が架かっても安全にしたり車椅子に入りやすいようにフローリング床にしたり、畳の良い人には畳にしたりしています。	○	一人一人の身体機能に合わせた環境作りをすることで少しでも自立した生活を送って頂ける様配慮している。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	見守り声掛けをする事で、少しでも不安を取り除き、自信を持って頂き、自立への支援しています。	○	出来た時の喜びを共有し失敗をしっかりフォローしながら、少しでも不安を、混乱を防止し、自立への支援へと繋げていく。
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先に椅子を並べ多くの入居者と、歌や会話をしながら季節を感じていただき、外気浴を楽しんでいます。	○	四季を通じて外気に触れ自然を感じ体感することで、心身の安定にもつなげていきたい。

V. サービスの成果に関する項目	
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日の誕生日会を手作りケーキで全職員入居者で記念写真を撮り居室に飾り色紙に職員のメッセージを書いて祝っている。日々の日常の中で季節の変わり目、年中行事にはその都度の手作りおやつを入居者と一緒に作ってみなで盛り上げている。毛糸の編み物、手作り手芸、塗り絵折り紙絵画教室など各自の出来るものを作って頂いている。